

～市民の皆様へ～ 水原郷病院の公設民営化

厚生連の事業計画書（素案）の概要について

阿賀野市は、将来に向けて地域医療を確保し、市民の生命と健康を守るため、老朽化の著しい現在の病院への対応が必要と考え、水原郷病院経営改革審議会の答申、新病院計画委員会報告書、総務省経営アドバイザーの診断結果並びに議会による水原郷病院の調査・検討特別委員会の報告書および意見書などを総合的に判断した結果、「公設民営化による経営改善を行いながら、公的資金（起債）による新病院建設を目指す」という方針を平成20年2月に決定しました。

この方針に従い、これまで、水原郷病院の公設民営化について新潟県厚生連と協議を進めてまいりましたが、この度、厚生連から事業計画書（素案）が提出されましたので、市民の皆様にご紹介いたします。

より良い病院づくりに向けて、今後さらに協議を進めていく予定です。

[厚生連の紹介]

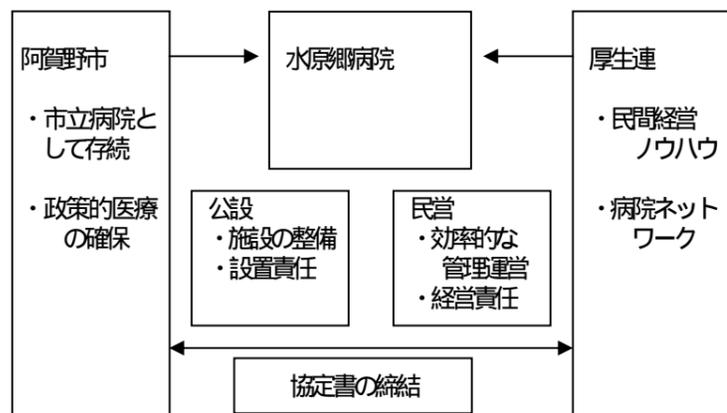
新潟厚生連（新潟県厚生農業協同組合連合会）は、JA（農協）系列の医療機関で、日赤病院や済生会病院等と同じく医療法に定める公的医療機関として地域医療を担っています。

新潟厚生連は、県内に16病院を運営し、患者数は県内医療の約16.8%を担っており、県立病院を上回る規模で、県内医療に対して非常に大きな役割を果たしています。

新潟厚生連の概要（平成21年9月現在）

- ・病院数：16（10月1日付で新潟こばり病院を譲り受け、新潟医療センター（仮称）として開設する予定）
- ・介護老人保健施設数：4
- ・看護専門学校数：2

[公設民営（指定管理者制度）のしくみ]



政策的医療...国や自治体が政策として実施する医療で、一般的にへき地医療や救急・小児・周産期など、採算性の面から民間医療機関による提供が困難な医療が多い。

[事業計画書（素案）の概要]

現在の診療体制を維持・充実

急性期の二次医療を中心に、回復期から慢性期及び在宅医療等を一体化した病院としての機能充実に取り組みます。

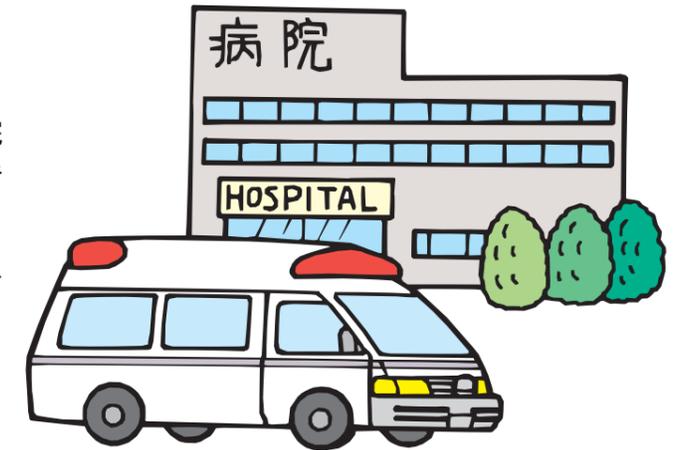
当面は、現在の診療体制の維持に努めながら、順次医師の充足をはかり、診療機能の向上をはかります。

現在の診療体制（17診療科）

内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、血管外科、胸部心臓外科

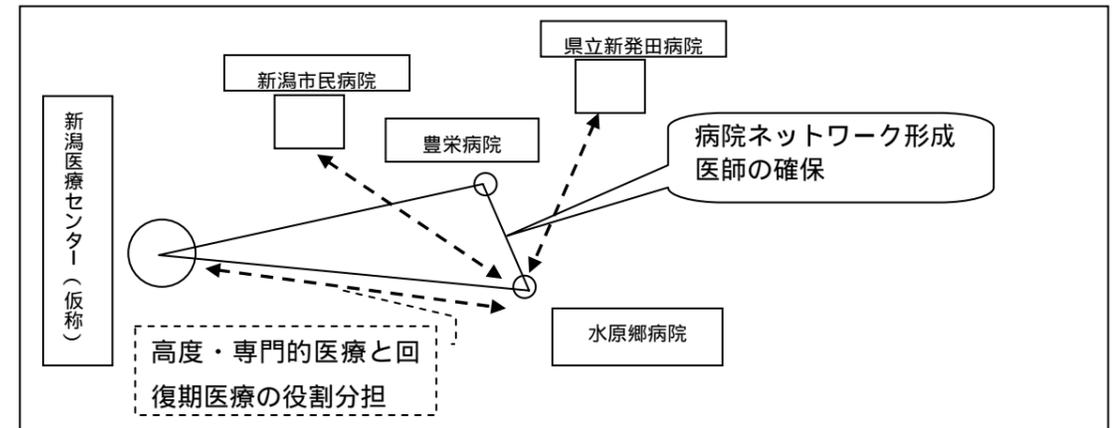
救急医療

可能な限り早期の救急告示病院の指定復活を目指し、救急患者の受入率向上に努めます。
地元医師会との連携による救急体制整備を検討します。



病院ネットワークの充実

新潟医療センター（仮称）等との連携により、水原郷病院及び豊栄病院の医師の確保と病院ネットワークの充実等をはかり、地域医療の向上に努めます。
高度・専門的医療については、新潟医療センター（仮称）・新潟市民病院・県立新発田病院等との連携により対応します。
回復期リハビリ機能の強化をはかります。



保健・医療・介護・福祉の総合的一体的なサービス提供

専門部署（地域保健福祉センター）の設置により、関連部門間の連携強化をはかり、利用者の利便性向上及び事業の充実をはかります。
訪問看護ステーション並びに介護老人保健施設の併設メリットを活かして、慢性期医療及び在宅医療・介護支援等の充実をはかります。
行政・JA広報誌等への健康情報の提供により、健康増進に向けた自己管理意識の高揚をはかります。また、講演・講話等についても、積極的に対応します。
介護老人保健施設の機能強化により、増加する施設入所待機者の減少対策に取り組みます。
阿賀野市が取り組んでいる「阿賀野フィンランド健康福祉プロジェクト事業」に対して積極的に協力します。

医師・看護師の確保

関連大学との連携強化により、医師招聘の拡大に努めます。
臨床研修指定病院として、研修・指導内容の一層の充実をはかり、優秀な研修医の確保・養成と定着に努めます。



潜在看護師の掘り起こしと職場復帰のための研修プログラムの充実により看護師の確保をはかります。

医療の質の向上

日本医療機能評価機構の病院機能評価認定の更新に向けた取り組みにより、病院の質の向上と患者から選ばれる病院作りに取り組みます。

患者に対する適切な情報開示、患者の立場を尊重した医療の展開等により、質の高い医療の提供と患者満足度の向上に努めます。

新病院の建設

阿賀野市の新病院建設の早期実現に向けた取り組みを進めます。

経営の改善

人事交流を積極的に行って職員意識の変革に努め、病院組織の活性化と経営改善をはかります。

業務の効率化、病院ネットワークによる要員の効率的活用、患者数・収益等業務量に見合った要員の適正配置等により、経営の健全化に努めます。

医療の高度化・近代化に対応した設備投資と財務の健全化に向けた、適正水準の内部留保を確保します。

< 収支の見込み >

単位：千円、%

	20年度実績	1年目	2年目	3年目	4年目	備考
医業収益	2,731,787	2,765,073	2,851,699	2,970,072	3,079,389	順次医師の充足をはかり、増収
事業収益	3,019,753	3,056,073	3,142,699	3,261,072	3,370,389	
総収益	3,216,054	3,256,373	3,342,999	3,461,372	3,570,689	
医業費用	747,183	742,762	717,773	735,195	751,359	
事業費用	3,406,428	3,227,903	3,218,459	3,291,402	3,374,209	施設等を市が所有することで、減価償却費等を減
総費用	3,501,709	3,252,903	3,233,959	3,307,402	3,390,709	
純損益(-)	-285,655	3,470	109,040	153,970	179,980	適正水準の内部留保を確保
病床利用率	81.5%	82.7%	84.7%	86.7%	88.7%	稼働病床数(248床)換算
給与費比率	71.2%	67.8%	68.3%	67.6%	67.3%	要員の適正配置等により、引き下げ
経常収支比率(事業収益÷事業費用)	88.6%	94.7%	97.6%	99.1%	99.9%	4年目で約100%を達成

[市の財政負担のシミュレーション]

市が負担した病院経費の実績

単位：千円

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	備考
救急医療等に係る負担金	237,207	198,298	201,097	147,815	111,951	
借入金返済等の負担金	304,013	298,756	282,454	255,705	203,488	
赤字補てん	0	350,000	300,000	200,000	200,000	
退職手当債						
市の負担金の合計	541,220	847,054	783,551	603,520	515,439	

民営化後に市が負担する病院経費のシミュレーション

単位：千円

	1年目	2年目	3年目	4年目	備考
救急医療等に係る負担金	157,635	157,635	157,635	157,635	厚生連に交付等
借入金返済等の負担金	255,613	236,530	236,530	211,487	残債の全額を負担
赤字補てん	0	0	0	0	厚生連の収支見込
退職手当債	97,882	98,804	97,401	95,939	
市の負担金の合計	511,130	492,969	491,566	465,061	

毎年、国から市に交付される地方交付税の中には、病院を設置していることで生ずる諸問題に対処する経費として約2億円が算入されており、民営化後も引き続き市に交付されます。



市民説明会を開催します

事業計画書(素案)及び水原郷病院の公設民営化の進捗状況について説明会を開催します。

場 所 水原保健センター 2階 研修室

日 時 9月24日(木)午後7時 (1時間半程度)
 9月27日(日)午前10時 (")
 9月27日(日)午後1時30分 (")

この資料の問い合わせ先

阿賀野市役所 企画政策課 病院改革推進室 61-2483